

いきいき
まえばし人



ラグビーU-17日本代表
高 悠也さん・16歳
若宮町三丁目

初めての海外試合でも堂々と

中国の鄭州で行われた、日・韓・中ジュニア交流競技会のラグビー競技に、U-17日本代表として出場。日本代表チームは、8月25日の中国戦、26日の韓国戦とも勝利を収めた。「初めての海外試合でしたが、自分の力を試したい気持ちが大きかったせいも、緊張はしませんでした」。ポジションはバックスの左ウイング。抜群のスピードとテクニックで1トライずつ決め、勝利に貢献した。

「両チームとも体が大きい選手が多かったけれど、ひるむことなく自分たちのペースで試合を運ぶことができました」。

ラグビーを始めたのは小2の時。友達に誘われて前橋ラグビースクールに入った。始めたころは楽しさに

夢中だったが、続けていくうちに辞めたいと感じることもあったという。「なんとなく続けているだけの状態が嫌だったんです。でも、中3の時に全国大会に出場して、自分に全国に通用する力があるんだと分かったから、その気持ちはなくなりました」。

現在は明和県央高のラグビー部で、毎日の練習に励む。将来のことを尋ねると、まだ迷っていると言った。「ラグビーはもちろん好きだけれど、スポーツトレーナーにもあこがれています。いろいろな可能性に挑戦しながらゆっくり考えていきたいです」。

まだまだ夢のある16歳。大好きなラグビーを楽しみながら、未来への道を突き進んでいってほしい。

グー・ズ・ア・ツ・プ



楽しいイベントがめじろ押し

8月28日・29日の2日間、総合福祉会館で生涯学習フェスティバルを開催しました。市民ステージや各町の広報紙の展示、よろいの試着、昔遊びのおもちゃ作りなどを実施。家族や友達同士など多くの人が訪れ、みんな時間を忘れて楽しんでいました。



高原をさっそうと駆け抜ける



8月29日、第29回あかぎ大沼・白樺マラソンを赤城山大沼湖畔で開催。全国から参加した2,510人のランナーが、沿道からの声援を受け、さわやかな高原をさっそうと駆け抜けました。

的確な対応をするために

9月2日、宮城体育館駐車場で集団救急事故合同演習を実施。消防隊員や医師、看護師ら112人が参加しました。震度6の大規模な地震による災害を想定し、一刻を争う事態に各機関が連携して対応できるように訓練しました。

わたしたちの学校 ニュース



五中

伝統を守り向上を

生徒会長 齋藤 佳奈子さん

わたしたちの五中は「礼儀正しく、鍛え合う五中」を信条に、良き伝統を守りながら、さらなる向上に努めています。

そんな五中の伝統の一つに、学校を花で明るく彩る「花いっぱい運動」があります。毎回多くの生徒が参加していて、普段、自然と触れ合う機会の少ないわたしたちが、土と親しみ、緑の大切さを学ぶことのできる貴重な経験となっています。花壇の配色やデザインにはこだわりを持っていて、春にはパンジーで花文字をつくっています。この活動は、生徒はもちろん



心を込めて花壇づくり

心安らぐ空間を目指します。

また、最近始まった活動に「あったか言葉」があります。これは、相手が聞いてうれしくなる言葉を積極的に使い、笑顔のあふれる学校を目指す運動です。この運動の一つに「あったかの木」があります。大きな行事や季節に合ったメッセージを生徒や先生がカードに書き、手作りの「あったかの木」へ木の葉に見立てて掲示していきます。

これらの活動は、五中を自分たちでつくり上げていくという意志の下、生徒全員で行っています。これからも互いに話し、協力し、競い合うことで、一人一人が向上できる、輝く五中を目指して頑張っていきます。



みんなの思いを掲示